

令和 8 年 7 月 27 日

雲 仙 市

担当課	教育委員会 生涯学習課
担当者	職名 参事補 氏名 村子 晴奈
電 話	0957-78-2334
F A X	0957-78-2334

「雲仙市吾妻町 上熊崎遺跡 発掘調査説明会」の開催について ～弥生から古墳時代の「護岸施設跡」と「木製品水漬け遺構」を発見！～

標記の件につきまして、下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。報道向けの説明会はありませんが、事前の取材は個別にお受けしますので、お問合せ下さい。また、説明会の日程等事前に掲載して頂ければ幸いです。

〔日時〕

令和 8 年 8 月 2 日(日)午前 9 時 30 分から(小雨決行)

〔対象〕

どなたでも参加可能

〔集合場所〕

上熊崎遺跡 発掘調査現場(別添地図参照)

〔概 要〕

- ・【遺跡名】 上熊崎遺跡(かみくまさきいせき)
- ・【調査期間】 令和 8 年 4 月 2 1 日～令和 8 年 8 月末(予定)
- ・【調査原因】 横田地区基盤整備に伴う工事
- ・【調査面積】 850 m²

雲仙市教育委員会では、上熊崎遺跡の発掘調査を実施しています。

上熊崎遺跡は、縄文時代から近世までの複合遺跡です。今回の調査では、弥生時代後期～古墳時代初頭頃(約 1,800 年前)のものとみられる河川の護岸施設跡や木製品水漬け遺構が新たに発見されました。

「河川の護岸施設跡」からは、水場へ安全に降りるための木製階段状遺構や木杭によって区画が区切られた痕跡が確認されました。

「木製品水漬け遺構」からは、加工途中と思われる木材が多数出土し、当時の高度な木材加工技術が伺えます。

これらの成果は、上熊崎遺跡周辺の歴史解明はもちろん、今後の島原半島における地域史研究を大きく前進させる貴重な発見です。これらの調査成果を広く公開し、地域の歴史を身近に感じていただく機会としていただければ幸いです。



↑ 河川護岸施設跡 調査状況



↑ 木杭によって区画が区切られた痕跡



↑ 木製品 水漬け遺構



↑ 出土した鍬



↑ 木製品水漬け遺構 調査状況

